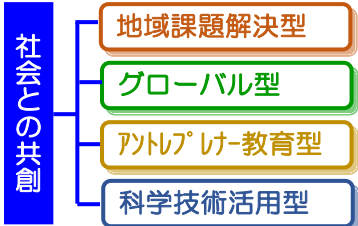


成果発表会 レポート

本プロジェクトは、生徒が実社会での課題の解決に向けて、大学や研究機関、企業、自治体等と連携しながら探究活動に取り組む機会を設定し、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育むことをねらいとしており、4つの型を設定しています。

参加した生徒たちは、これまで、オンラインセミナーにおいて探究活動の進め方等を学び、各自で課題を設定し、中間発表会において講師等から助言を得ながら探究活動に取り組み、この度、令和7年1月7日（火）、1月10日（金）にオンラインで開催された成果発表会に参加しました。

成果発表会では審査を行い、上位チームは、令和7年2月1日（土）に北海道大学を会場として開催される「探究チャレンジ・アジア」に参加します。



「地域課題解決型」成果発表会

令和7年1月7日（火）開催
19校、24チーム参加

参加校・発表タイトル

石狩翔陽高校	子育て世帯の支援 ～ Share でつくる未来 ～
帯広柏葉・帯広三条高校	とにかく「拾う」計画
浦河高校 A	華麗に復活!浦河町
岩内高校	釣り場の良さを生かしたまちづくり『おさかなくらぶ』
札幌東高校	Dream Maker
富良野緑峰高校	ふるさと納税返礼品開発による地方創生
美深高校	美深町発、魅力を紡ぐ特産物の輝き
釧路湖陵高校 B	子育て世帯のための釧路市避暑プラン
檜山北高校	成果を届ける製菓店～目指すは甘々な地元愛～
倶知安高校 A	どうすれば外国人に利用しやすい病院づくりができるのか
倶知安高校 B	倶知安町の特色を生かした遊びとは？
浦河高校 B	浦河町をコミュニティベースド・ツーリズム【CBT】で活性化する
長万部高校	長万部の特産品を使って町を活性化させよう
美唄尚栄高校 B	SNS を利用して美唄市の知名度を上げよう
函館西高校	放課後居場所づくり×西高割
釧路湖陵高校 A	ホテルでがっちり～宿泊施設を利用した観光消費増加方法を探る～
美唄尚栄高校 A	広報誌を活用して美唄市の知名度を上げよう
別海高校	「働きやすさも経済成長も」実現するために、別海町でできることは？
帯広三条高校	十勝カフェの営業の長期化を目指して
伊達開来高校	伊達レンジャー～みんなで助け合うまちづくり～
名寄高校	名寄市を立体映像で活性化
静内農業高校	カレーで華麗なる国際交流をはかせるか
網走桂陽高校	子ども食堂を作ろう～子どもたちの未来のためにできること～
倶知安高校 C	どうしたら SNS を使ってより多くの人に倶知安町を知ってもらえるか



参加生徒の感想

- ・探究活動は、ゴールを設定することは大切だが、その最中で新たな発見や考えが生まれたり、全て検討したらよいということが分かった。
- ・自分 1 人ではできなかったことや思い付かなかったことが沢山あったから、協力してくれたグループのメンバーや先生に感謝したい。
- ・このプロジェクトに参加しなければ一生関わることがないかもしれない内容であり難しい内容だったがとても勉強になった。
- ・仮説を立てて検証する時にヒヤリング調査などを行うことで、自分の言語能力が高まり、地域の方とも広く関わることができたのでこの探究活動を行ってよかったと思います。



審査結果 「探究チャレンジ・アジア」出場校

函館西高校 網走桂陽高校 伊達開来高校

審査員からの主なコメント

- ・自身の経験も踏まえ、「こどもの自己肯定感をあげる」ドリームメーカーの企画を先行研究論文や教育関係者との交流を踏まえて進めていた点が高く評価できます。また、予算の裏付けについても言及されており、実行性が高いと思いました。この後の研究課題も発見できたようでとてもよい内容だと思いました。(札幌東へのコメント)
- ・ふるさと納税返礼品については、関心も高く、よい視点で探究を進めていると思いました。高校生が企画している商品というだけでブランドになると思います。皆さんの商品が地域を飛び出し全国的なものになることで、地域の活性化につながることを期待できました。(富良野緑峰へのコメント)
- ・一時的な移住から定住へとつなげる取組は非常に印象的です。しかしながら、短期移住から定住へのハードルはなかなか高いものがあると思います。引き続き、市も巻き込みながら継続した取組を進めていくことを期待します。(釧路湖陵 B へのコメント)

「グローバル型」成果発表会

令和7年1月10日(金)開催
16校、12チーム参加

参加校・発表タイトル

名寄高校 B	Let's tour Tokyo Disneyland efficiently
札幌白石高校	To End Poverty
千歳高校	Carbon Neutral Initiatives by the "Industry-Academia-Government" Collaboration in Chitose City
帯広柏葉高校	A Green Bridge for the Next Generation ～Tokachi's Challenge in Collaboration with Elementary School Students～
釧路湖陵高校	Everyone SEPALATES! Everyone ECOLOGY! ～Enchanted by the magic of guidance～
登別明日中等教育学校	Exchange with foreign countries
函館西高校 A	Hakodate Meets Istria: Connecting Through Culture and Language
浦河高校	To promote mutual understanding with the increasing number of Indians in Urakawa town
札幌国際情報高校	The state of Hokkaido's tourism industry
月形、札幌白陵、静内、函館西 B、上磯、雄武、白糠	Our Evacuation Drills to the world!
名寄高校 A	Bringing WA Closer to home
鹿追高校	Visualization of Greenhouse Gas Emissions to Raise Awareness on Climate Change Measures



審査結果 「探究チャレンジ・アジア」 出場校

釧路湖陵高校 千歳高校 浦河高校 帯広柏葉高校

参加生徒の感想

- 他校の生徒や、海外の生徒と話すことは滅多にない貴重な機会で、新しい視点をもつことができた。始めに設定した課題からずれることなく進めることが意外にも一番難しかった。
- 世界的に問題になっている気候変動について調べることができ、色々な所でインタビューしたり、解決策を考えたりなどして、とてもよい経験になった。
- 同年代の人と ZOOM を通して、他言語で自分の考えを伝える機会というのは貴重でなかなかないと思うので、これからの人生にも活かしていきたい。



審査員からの主なコメント

- 北海道の貧困に関する現状について、高校生にしかできない解決策を見付け、考えを行動に変えてほしいと思います。(札幌白石へのコメント)
- インドの方々の文化の違いや男女格差、どのように共生していくのかについて、更にアイデアを出して行動してほしいと思います。インドの方々に日本文化を理解してもらう視点と、日本人もインドの文化について理解しようとする視点の両方を盛り込んだ活動が重要だと思いました。(浦河へのコメント)
- Well organized and presented! PET bottles are one type of trash; do you have ideas on how you can sort other types of rubbish? In any case, teaching and inspiring young people to recycle properly will certainly have a lasting positive effect on the environment. (釧路湖陵へのコメント)

「アントレプレナー教育型」成果発表会

令和7年1月10日(金)開催
9校、16チーム参加

参加校・発表タイトル

札幌月寒高校 B	平岸マルシェを使って地域貢献
滝川高校	主体性を育む教育プログラムの開発
函館西高校	温泉サブスク
枝幸高校	「サブスクコンポスト」の提案
札幌月寒高校 F	朝、時間のない高校生のために
札幌月寒高校 C	子どもがもたらす地域の活性化
浦河高校 B	「防犯ブザーが、世界の女性を救う！」
帯広柏葉高校	株式会社受川 探究
名寄高校 A	暗記しやすいチョークの色とは
釧路湖陵高校	机に取り付けるゴミ箱
札幌月寒高校 E	朝食欠食をなくそう
浦河高校 A	参加型お土産づくりで、地域活性化を目指す
札幌月寒高校 D	豊平区における課題
札幌月寒高校 A	ヤクルト製品を10代に広める
名寄高校 B	代用品スイーツ
斜里高校	知床斜里観光案内センターの有効活用9

参加生徒の感想

- 広報活動が興味深かったので、広報についてより詳しく知りたくなった。広告の効果的なデザインや、集客法などよく知りたい。
- 実際に投資してもらい、出店するという貴重な体験ができ、すごくありがたいことだなと思うと同時に、自分が成長できたのがよかったと思う。出店も楽しくでき、色々な方の意見に触れることができ視野が広がったと思う。
- 企業様や知らない大人の方々と話をするのが初めての経験だった。



審査結果 「探究チャレンジ・アジア」 出場校

浦河高校 B 釧路湖陵高校

審査員の主なコメント

- ・企業の課題を自分事として捉え、高校生として何ができるかを考え、子どもが楽しめるイベントを企画し実施したことは大変素晴らしいことだと思います。今回の取組が実際に集客につながったのか、また、課題や改善点はあったかなどについて、集客数の調査やアンケート調査を実施してそれらを明らかにすると一層充実した探究になると思います。(札幌月寒Bへのコメント)
- ・サブスクリプションを取り入れられないかであるとか、AI デマンドを活用できないかであるとか、次から次へといろいろな点に目を向けていこうとする意欲が素晴らしいと思います。(函館西へのコメント)
- ・課題について、警察や防犯ブザーを使用している方へ行ったインタビューの観点及び結果分析が、探究の具体的なゴールにつながっていて素晴らしいと感じました。また、ニトリさんの企業理念や、複数の機能性、目を引くデザイン性を踏まえた商品開発も秀逸でした。今後の商品化に期待しています。(浦河Bへのコメント)



「科学技術活用型」 成果発表会

令和7年1月7日(火) 開催
4校、7チーム参加

参加校・発表タイトル

旭川西高校 A	ブランコをどこまでこげるのか？
釧路湖陵高校 B	エゾシカ脂で燃料を作る
旭川西高校 B	糸状菌の菌種の違いによる生分解性プラスチックの分解能力の差について
札幌啓成高校	有孔ボードの孔の大きさによる吸音性能の変化
釧路湖陵高校 A	白色腐朽菌によるプラスチック分解の可能性
函館中部高校 A	大沼の泥における微生物燃料電池の発電能力向上について
函館中部高校 B	漬物由来の乳酸菌を用いた豆乳ヨーグルトと市販の豆乳ヨーグルトとの比較

参加生徒の感想

- ・専門的な分野で考えたり実験したりしましたが、その内容をまとめる上でより言語能力やプレゼン力が高まったと感じた。
- ・研究はある程度の結果は出ると思ったが、実際には思うようなデータが取れなかったり、実験方法に詰まったりすることもあった。



審査結果 「探究チャレンジ・アジア」 出場校

函館中部高校 A

審査員の主なコメント

- ・理論上の挙動を数式等で明示しているにも関わらず、模型でその検証を行っていることについて、何を知りたくて、何を明らかにしたいのかを明快にした上で研究を行う必要があります。「やってみた」の先にある素朴な疑問を深掘りしてみてください。(旭川西Aへのコメント)



＜参加生徒の取組の様子＞



石狩翔陽高校



美唄尚栄高校



帯広柏葉・帯広三条高校合同チーム



札幌国際情報高校



鹿追高校



枝幸高校



斜里高校



旭川西高校



浦河高校



檜山北高校



伊達開来高校